

都市と中山間地、それぞれの課題

広島から松之山に移住して三年目。地域おこし協力隊の仕事もあと八か月で任期満了だ。最後まで一生懸命頑張りたいと思う。任期満了が近くなるにつれて、改めて都市から中山間地への移住について考えることが多くなった。

広島はそこまでの大都市ではないけれども人はそれなりに多い。意外に思われるかもしれないが広島は平野部が少なく面積の7割以上が山間地。六十年代からの人口増を受け入れるに

は、山を削って新興住宅地を建てるしか方法がなかった。

そして今その弊害が、広島のある場所まで起こっている。その頃若かった世代が七十代になりつつあり、立ち並ぶ築四十年以上の住宅の中に孤立しているのだ。新興住宅で各地から

移り住んだ人々だった故に昔からの人のつながりも希薄。かつては盛況であった住宅地内のスーパーなども不景気で撤退。田畑もないので食料も作れない。交通

協力を卒業論文の題材に

十二月頃からそろそろと多忙となる学生達。そう、大学四年生が卒業に向けて取り組む卒業論文完成のシーズンだ。この度、その卒業論文の題材になるという滅多にない経験をする事になった。

新潟大学の学生さんで、地域おこし協力隊を題材にしたいという事で布川地区の協力隊である田之岡さんと私の二名、そして各地域から一名の世話人さんがヒアリングに参加することに

なった。

出身地から始まり、地域おこし協力隊になった経緯や地域の皆さんとの交流の仕方、仕事内容など多岐に渡る質問があり、一時間以上は経過したと思う。

ヒアリング後は少しの間であったが、お茶を飲みながらしばしの歓談。学生さんの協力隊についての考えや将来の夢などを伺いながら交流を深めさせていただいた。

の便は良いが、採算の取れなくなった路線はほとんど廃路になっている。病院にすら行きにくいという本当に由々しき事態だ。

翻って中山間地においては、古くから大切に生きてきた繋がりはしつかりとあり、肥沃な田畑は数多くあるものの、人口の絶対数が少なくなっているが故に集落の形を維持するのが困難になってきつつある。

この両者を比べたときに、今後どちらに社会を乗り切る地域再生力があるのだろうか。と、いつも自問自答する。その自分なりの答えは移住という選択をしたことと判断した

ばと思うが、だからといって移住すればすべてよし、というわけでもない。一人の力は小さいかもしれないが、集まって団結すれば強くなる。地域を維持するためには、そのような取り組みから少しづつ始まってゆくのではないだろうか？

任期終了後、私は松之山の住人として生きるわけであるが、任期終了したことであるが、任期終了というわけでもありません。むしろ様々な取り組みはそれから始まるのかもしれないと考えている。始まりの終わり。本当の生活は、これからだ。

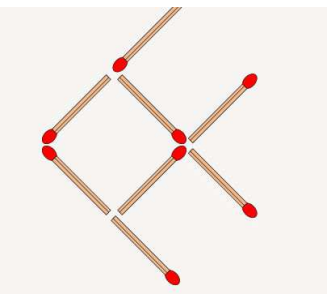


あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

年末年始、酔い酒ライフを過ごしましたでしょうか？おみやげの店十二屋商店の福原基裕です。今回はお客様に聞かれた事について書いてみたいと思います。そのお客様に聞かれた事

マッチパズル

お馴染みになつてきたマッチ棒パズルです。マッチ棒を二本動かして、金魚の向きを変えてください！



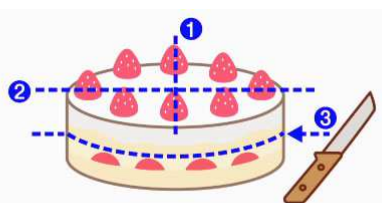
コラム『日本酒探検』21

とは「にごり酒」とどぶろく。って何が違うの？です。どちらも白く濁った酒ですが、にごり酒とどぶろくとは似て非なるものです。簡単に言ってしまうと、どぶろくは搾らず、濾さない。醗の酒の事を差し、コメの形が残ったドロドロとしたお酒になり「醗酒」とも言われます。

反対に「にごり酒」は醗を細かく砕いて目の粗い布なので大まかに濾したものと、オリはありますが、サラサラとしています。どちらも個性的で魅力的なお酒です。

ただ、今現在のこの新酒の季節は「にごり酒」の繁忙期！加熱処理をしない瓶内で醗酵してプチプチシューワシユワする活性にごり酒が出荷されておりますのでぜひ飲んでみてほしいです。一気に開封すると吹き出し

先月の答え。下の方はクリムがないですけども。



まずタテに1回、次にヨコに1回ナイフを入れ、4等分します。さいごに、ケーキの真ん中に、机と平行にナイフを入れると、8等分！！

編集後記

雪が降りそうで降らない。今年も前年に引き続き小雪なのだろうか？今シーズン一番よく降ったのは今のところ一月十三日で、黒倉で夕方から早朝にかけて約七センチの積雪があったが、それ以降はさほどでもない。今週の寒波でどうなっているか？

多く降らないに越したことはないが、極端に降らなければ今年の田んぼの水に苦勞してしまう。何事もほどほどが良いとは思いつつ朝四時半に起きてスノーダンプで除雪をする日々だ。